

**砲台跡を  
日本語&英語で  
ご案内**

**ARアプリ  
対応**

**For an  
augmented-  
reality  
app in  
English**

# 軍横須賀の產

猿島砲台跡 / 走水低砲台跡

2016年5月から  
はとバスツアーも催行！

便利な  
横須賀観光  
イラストマップ付き

## 猿島砲台跡 SARUSHIMA HOHDAIATO

幕末に江戸防衛のため  
台場が造られた猿島

幕末に欧米の艦船が来航するようになり、幕府は江戸湾防備の必要性を感じた。品川などの沿岸に台場(砲台)を築いた。猿島もそのひとつで弘化4年(1847)に台場を建設。当初は川越藩が防備を担当した。東京湾要塞の建設は、明治14年(1881)に着工。明治17年(1884)に完成し、24cm加農砲4門、27cm加農砲2門が据えられた。しかし航空機の発達とともに、艦船攻撃を目的とした砲台は旧式となり、関東大震災で施設に大きな被害を受けたことを契機に砲台も廃止された。その後、陸軍から海軍に移管して昭和期に高角砲を設置。横須賀軍港を守る防空砲台として終戦を迎えた。



### 海軍港碑

猿島砲台跡 MAP ①

猿島は明治10年(1877)に海軍の所管となっている。この碑は猿島から夏島まで、海軍が管理する港の範囲を示すもの。横須賀の海が海軍港であることを表している。一辺が約30cmの安山岩製の角柱で、当初は木製だったが明治16年(1883)に石柱に建替えられた。2つに折れており、つなぐと約3mの高さになる。

### 兵舎(第一掩蔽部)

猿島砲台跡 MAP ③

第二砲台建設に伴って造られた兵隊の住居。フランス積みの総レンガ造りで、内部の天井はヴォールト構造(アーチ状のかまほこ型)で、内側の壁は漆喰塗り。白塗りの壁は当時の少ない照明でも明るさを確保するための工夫だ。



### 第二砲台塹道

猿島砲台跡 MAP ②

明治14~17年に西洋建築の技術を元に造られた。東側(写真右側)の壁の上に24cm加農砲4門が据えられた第二砲台があった。壁面はブラン積みという石積みで、房州石(凝灰岩)を使用している。塹道に沿って兵舎、弾薬庫などが連なる。

### 猿島の由来・日蓮伝説

猿島砲台跡 MAP A

安房の国から鎌倉へ布教に行く途中、日蓮上人は突然の嵐で難船した。この時、白猿が現れこの島へ導いてくれたことから、猿島と名付けられた。さらに白猿から啓示を受けた日蓮は米ヶ浜に上陸。お告げを受けた地元の豪族が日蓮を背負って浜へ降ろす時に、サザエで足を切ってしまった。それを見た日蓮が法華経を唱えると、辺りのサザエには角がなくなったと伝わる。

ガイド付きのツアーで見ることのできるスポット

## 愛のトンネル

猿島砲台跡 MAP ⑤

全長約90m、幅4m、高さ4.3mの総レンガ造りのトンネル。天井がアーチ状となっていて、レンガは愛知県西尾市にあった東洋組製作のものを使用。フランス積みで造られ、道路用としては日本で一番古いもの。トンネル内の西側には、2階建ての構造で弾薬庫などが造られ、状態もよく保存されている。

### 弾薬収納室後室

弾薬庫の奥にある部屋。広さは奥行き4m×幅5mほどで、前室と同じ大きさ



### 弾薬庫

猿島砲台跡 MAP ④

レンガ造りで外壁と内壁は兵舎と同様の構造だが、内部は前室と後室の2部屋に分かれている。前室には上部の砲台に砲弾を上げるために揚弾井(ようだんせい)が造られている。また、入口左側に爆薬庫内の照明を管理するための細い交通路(点灯室)がある。



### 展望台広場

猿島砲台跡 MAP ⑥

標高40mの猿島最高地点。ここには夜間に海を航行する艦船を照らす探照灯を備えた電灯所や司令所(観測所)があった。現在立っているコンクリート製の施設は、太平洋戦争中の防空指揮所といわれる。晴れた日には富士山も望める。



### 12.7cm高角砲砲座

猿島砲台跡 MAP ⑦

太平洋戦争の終わり頃に来襲したB-29爆撃機に対抗するために急ぎ建設した。急ぎで作ったため海岸の砂を利用したらしく、コンクリートに多数の貝殻が混じっている。2連装の高角砲が据えられた砲座が2カ所あった。



## 兵舎(掩蔽部)

猿島砲台跡 MAP ②

砲台中央部の横牆(おうじょう)・防護用の土盛り、防護壁(ぼうごへき)地下に造られた兵士の居住室。明治時代は照明が貧弱だったため、出入口の両脇に採光用の窓が2つある。内部は単純な長方形の部屋で天井はヴォールト構造、壁面はレンガに漆喰塗り。



## 第四砲座

猿島砲台跡 MAP ③

砲座は標高約20mの丘上にある。ここに北東方向に向けて27cm加農砲が据えられていた。胸牆(きょうじょう)・防護壁(ぼうごへき)に囲まれた砲座間には、高い横牆があり、その地下に弾薬庫・兵舎(掩蔽部)など造られている。



## 左翼観測所

猿島砲台跡 MAP ④

砲台の両端の横牆上には、観測所が設置されていた。写真は左翼に残された観測所。右翼にも存在したようだが、現在は確認できない。レンガ造りの太いT字型をした壕で、敵艦船との距離や方角を観測していた。



## 小隊長掩壕

猿島砲台跡 MAP ⑤

砲座間にある高い横牆には、上部の高星道(こうけいじょう)・高星道(こうけいじょう)上部に石積みがあり、小隊長掩壕(しょうたいちょうとう)中央部に小隊長掩壕(しょうたいちょうとう)が造られている。ちょうど大人が一人に入る広さで、肩ほどの深さがあり、保存状態は良好。小隊長壕は2つの砲座間にひとつずつ2カ所ある。



## 日本武尊と弟橘媛命

走水は古事記・日本書紀に地名の由来が登場する伝説の地。古代の東海道は駿河から足柄峠を越え、鎌倉を経て走水に至り、そこから海路を使って上総国(千葉県)へ通じていた。日本武尊は船で房總半島へ渡ろうとしたが、突然の暴風雨に阻まれ立往生する。この時、同行していた弟橘媛命が荒ぶる海の神を鎮めるために自ら入水すると、直ちに海は静き、水の上を走るように進んだことから「走水」とよばれたと伝えられる。日本武尊はわが身を犠牲にして海を鎮めてくれた最愛の妻・弟橘媛命を偲び、御所ヶ崎に橘神社を建立して祭った。その後遷座した走水神社境内には、東郷平八郎や乃木希典らが发起人となって明治43年(1910)に建てた「弟橘媛命の歌碑」がある。走水神社は、日本武尊が村人に与えた冠を石櫃に納めて土中に埋め、その上に社殿を建立したのが始まりと伝わる古社。



**便利！**

**砲台跡をARアプリでご案内！**

Explore remains of historic artillery batteries with an augmented-reality app!

スマートフォンやタブレットにダウンロードして利用するアプリを使って、各砲台跡でさまざまな情報をGet。砲座に大砲などが映し出され、まるで、実際にあるように見られるのは、感動ものだ。便利なアプリで砲台跡を120%楽しもう。

**ステップ1 [cybARnet] (サイバーネット) をダウンロード**  
Download [cybARnet].

AppStoreまたはGooglePlayから、無料ARアプリ「cybARnet」を検索し、ダウンロードする。Search for the augmented-reality app [cybARnet] in the App Store or Google Play and download it for free.

**ステップ2 AR無料アプリチャネル「横須賀の軍事遺産」を開く**  
Open the free augmented-reality app channel "Yokosuka's Military Heritage."

「cybARnet」を起動する。Launch [cybARnet].

アプリ接続方法 How to connect using the app

1 QRコードで読み込ませる。Read this QR code.

2 虫めがねマークをクリックし、検索画面へ。文字入力でアプリを検索して接続する。「横須賀」「砲台」「猿島」など短い言葉でも、検索できる。Click on the magnifying glass icon. Enter the keywords "Yokosuka," "battery," or "Sarushima" to search and connect with the app.

**ステップ3 砲台跡アプリを使ってみよう！ Try out the app!**

AR音案内 この「巡ってみよう 横須賀の軍事遺産」のリーフレット内の写真にかざすと、その物件の説明を日本語で読み上げてくれる。

360°動画 各砲台の砲座にかざすと、画面に大砲が出てきて、スケルトンになっているため、大砲といっしょに写真を撮影できる。

高角砲表示 各砲台の砲座にかざすと、画面に大砲が出てきて、スケルトンになっているため、大砲といっしょに写真を撮影できる。

このアイコンをタップすれば、360°どの方向に向けて、「エアタグ」とよばれる空間認識の情報を、GPS機能を利用して見ることができる。

AR GPS案内 この方向にある砲台跡の兵舎や弾薬庫などの物件が表示され、名前をタップすると名前が出てくる。

ARとは: Augmented Reality(オーエンダード・リアリティ)の省略形。拡張現実感。コーピュータを利用して、現実の風景に情報を取り入れて、目の前にある現実以上の情報を提示する技術や、その技術によって表現される環境そのものを含めて表示する技術。

かざした方向の先にある砲台跡の兵舎や弾薬庫などの物件が表示され、名前をタップすると名前が出てくる。

発行/横須賀市公園管理課☎046-822-8333 企画・編集・制作/(株)JTBパブリッシング  
©TJB Publishing / 横須賀市 2016 年本誌掲載データは2016年3月末のものです。発行後にデータが変更になる場合があります。

首都を防衛した

# 東京湾要塞

あまり知られていないことだが、かつての日本国領内には陸軍によって建設された26カ所もの要塞が存在した。明治13年(1880)に起工した東京湾要塞の一部となる観音崎砲台に始まり、太平洋戦争開戦後に造られた宗谷要塞・北千島要塞など5つの臨時要塞まで、明治から昭和にかけて建設・整備されたものだ。

その最重要地である東京湾要塞は、帝都東京、横須賀軍港などを脅かす海からの攻撃に備えるために建設。日清戦争時は清国の北洋水師(艦隊)、次にロシアの太平洋艦隊の襲撃を想定したものであった。主要な施設は富津岬と觀音崎を結ぶ線から夏島にかけて設置された沿岸砲台、3つの海堡からなり、横須賀市に東京湾要塞司令部が置かれていた。艦船に対抗する要塞は日露戦争までに概ね完成したが、兵器や航空機の発達により旧式なものになつた。また、関東大震災で壊滅的な被害を受けたこともあり、戦略上不要、あるいは復旧困難な砲台は廃止された。大正期には防御ラインは城ヶ島と洲崎を結ぶ線まで拡大し、新たな砲台が整備された。太平洋戦争時には、横須賀の防空は海軍が担当して、市内各所に防空砲台を建設し、敵機の襲来に対抗したが、陸軍の要塞各砲台は実戦で火を噴くことなく終戦を迎えていた。



①三笠公園の沖合1.7km浮かぶ猿島は、東京湾内にある唯一の自然島

※高角砲台は東京湾要塞を構成するものではない。



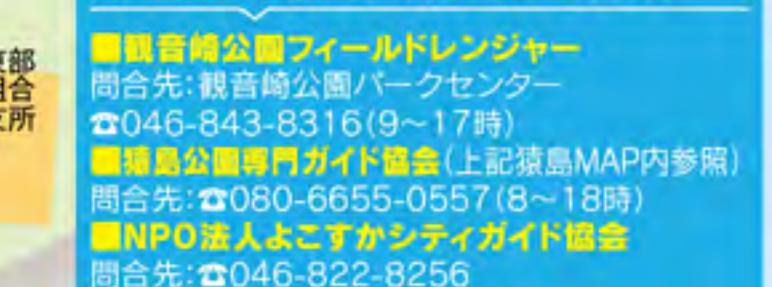
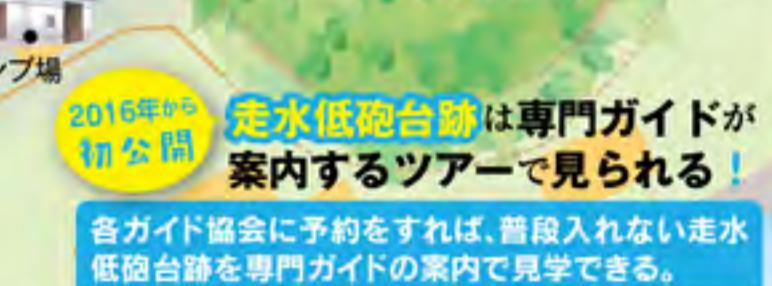
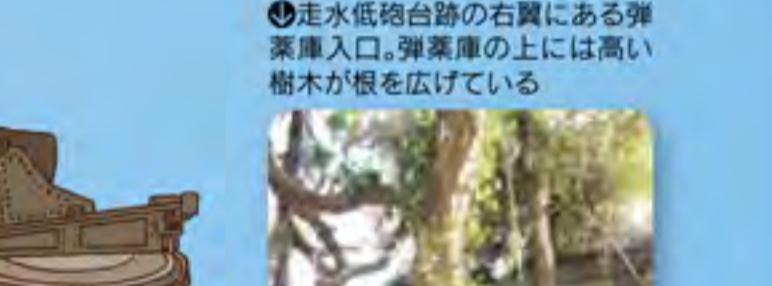
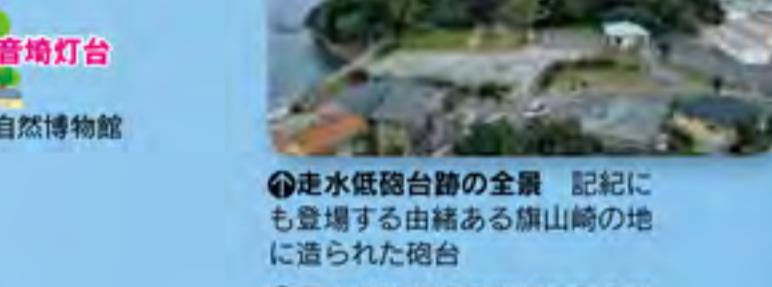
兵舎や弾薬庫内部も見学OKのガイドツアーもある!

■猿島砲台跡ガイド

所要時間90~120分。1名から申込みOK、5名まで3000円、5名以上1名600円(申込みは1週間前まで)。問合先:猿島公園専門ガイド協会 ☎080-6655-0557(8~18時)



②兵舎 第二砲台



## 猿島砲台跡MAP

## 走水低砲台跡MAP



## 横須賀市全図



予定のコース

専門ガイド  
二案内する

横須賀市×はとバス タイアップ企画 /

## 走水低砲台跡& 無人島猿島見学ツアー



\*ツアーワーの行程・内容は変更になる場合があります。

問合先:はとバス予約センター

☎03-3761-1100(8~20時)

※2016年4月15日より受付開始予定となります。

③愛のトンネルへ続く第二砲台星道(猿島砲台跡)



猿島砲台跡  
記紀の時代に創建されたと伝わる日本武尊と弟橘姫命ゆかりの古社。知る人ぞ知る人気のパワースポット

④初公開!



走水低砲台跡  
非公開だった砲台跡を2016年に整備し、専門ガイド付きツアーで見学可能になった。景色のよい散策路もある。

⑤初公開!



2016年から  
初公開!  
走水低砲台跡は専門ガイドが案内するツアーで見られる!

各ガイド協会に予約をすれば、普段入れない走水低砲台跡を専門ガイドの案内で見学できる。

■横須賀公園フィールドレンジャー  
問合先:猿島公園パークセンター ☎046-843-8316(9~17時)

■猿島公園専門ガイド協会(上記猿島MAP内参照)  
問合先:☎080-6655-0557(8~18時)

■NPO法人よこすかシティガイド協会  
問合先:☎046-822-8256(9~17時、土・日曜・祝日を除く)

## 走水低砲台跡MAP